

ウィークリー・ブレッド・オブ・ライフ
(2024年12月30日(月)～2025年1月5日(日))

岸和田聖書教会
牧師 栗原純人

「ブレッド・オブ・ライフ」とは「いのちのパン」(ヨハネ6:48)。来るべく2025年も「わたしはいのちのパンです」と言われるイエス・キリストさまをみことばによって食しましょう。今日一日の力です。以下の手順を参考に聖書を読みましょう。

1. 静まります。「しかし私は 義のうちに御顔を仰ぎ見 目覚めるとき 御姿に満ち足りるでしょう。」(詩篇17:15)。神さまがあなたを呼んでおられます。
2. 声に出してその日の聖書日課を読みます。
3. 気づいたこと、わからないことなどをノートに箇条書きし、その後『みことばの光』、このブレッド・オブ・ライフの文章を読みます。わかったことがあったら、さらに書いてみましょう。
4. もう一度、聖書日課を読みます。違う響きがあるでしょうか？
5. 祈りましょう。実際に声に出して。そして祈りの中心部分を書いてみましょう。一日の終わりに、今朝の聖書を思い起こし、みことばがどのように生きたか、思い巡らしましょう。

12月30日(月)

今日の聖書日課：詩篇66:1～20

さあ聞け すべて神を恐れる者たちよ。神が私のたましいになさったことを語ろう。

詩篇66:16

「たましい」とは心だけではなく、心とからだ、すなわち私のすべて。この2024年、神さまが私というひとりの人間にしてくださったこと、その恵みを振り返りましょう。そしてそれを周りの人々に語りましょう。それによって神を恐れる者はますます正しく神を恐れるように。神を信じていない人は神を恐れる者とされるように。

12月31日(火)

今日の聖書日課：詩篇67:1～7

神が私たちを祝福してくださり 地の果てのすべての者が 神を恐れますように。

詩篇67:7

まずあなたが祝福されます。神に祝福されるのです。そのあなたの姿を見て、他の人が神を認め、神を恐れるようになります。2024年、祝福されたあなたによって何人の人が神さまを認めるようになったでしょうか？そのことのゆえに御名をあげます。新しい年も、神さまが「御顔を私たちの上に 照り輝かせてくださいますように」(1)。

2025年

1月1日(水) 本日は午前11:00より元旦礼拝をお献げします。その後、餅つきをします。

今日の聖書日課：詩篇68:1～35

ほむべきかな 主。日々 私たちの重荷を担われる方。この神こそ 私たちの救い。

詩篇68:19

2025年。この一年も私たちの神が私たちの重荷を担ってくださいます。イエスは私たちの重荷を担ってくださいます。「わたしのくびきは負いやすく、わたしの荷は軽いからです。」(マタイ11:

30)。イエスさまとともに負うならば、あなたの重荷はイエスさまの荷であることに気づくでしょう。そしてそれは軽いのです。

1月2日(木)

今日の聖書日課：詩篇 69：1～36

天地よ 主をほめたたえよ。海とそこにうごめくすべてのものも。まことに神は シオンを救いユダの町々を建て直される。彼らはそこに住み そこを自分たちの所有とする。

詩篇 69：34～35

長い 69 篇の終わり。最終的に賛美に着地。しかしこの 69 篇を読んでください。ダビデがいかに敵の攻撃によって苦しみ、主に叫び求めたかを。実に私たちの賛美も、ただの口先だけの美辞麗句ではありません。そこに至るまでには苦しみの嘆きがあるのです。「彼らがいのちの書から消し去られますように。正しい者と並べて 彼らが書き記されることがありませんように。」(28)。大切なことはダビデが、あなたが言ったことがそのとおりになるということではありません。その祈りに答えて、主があなたに御顔を向けてくださること。それが何よりも大切なのです。それゆえに私たちは主をほめたたえるのです。

1月3日(金) 本日はF K Kティーンズ新年会が高石聖書教会で行われます。現在小学 6 年生(来年度新中 1)を含めた中高生たちにみことばの恵みがありますように。

今日の聖書日課：詩篇 70：1～5

あなたを慕い求める人たちがみな あなたにあって楽しみ 喜びますように。あなたの救いを愛する人たちが 「神は大いなる方」と いつも言いますように。

詩篇 70：4

「あなたを慕い求める人たち」とダビデは言います。その筆頭はダビデ自身。ダビデは人々が自分のようになることを願ったのです。苦しんでも救い出され、助け出され、「神は大いなる方」と賛美する自分のようになることを。伝道とはいわば「私のようになってください」と呼びかけることなのです。

1月4日(土)

今日の聖書日課：ルカ 1：1～25

しばらくして、妻エリサベツは身ごもった。そして、「主は今、このようにして私に目を留め、人々の間から私の恥を取り除いてくださいました」と言い、五カ月の間、安静にしていた。

ルカ 1：24・25

ザカリヤとエリサベツの老夫婦。ザカリヤはヨハネ誕生の「良い知らせ」(19)を信じることができず、口がきけなくなるという懲らしめを神から受けました。しかしエリサベツは違います。どんどん大きくなるお腹。老体が妊娠したことを知り、恐れおののくのではなく主を賛美したのです。彼女の信仰なくして主イエスの道を用意する(3:4)バプテスマのヨハネは誕生しなかったのです。

年を重ねてもさらに信仰が成長する私たちでありますように。

1月5日(日)

今日の礼拝説教箇所：ルカ 1：26～38 「あなたのおことばどおりに」

クリスマスは終わったわけではありません。新年もあいさつしましょう。「メリー・クリスマス」そして「マラナ・タ(主よ、来てください!)」。マリアの信仰から学びましょう。